



のこすこと、つくること

どちらも国土技術です。

平成29年度 国土交通省

国土技術研究会

2017年

11/13_月・14_火

会場: 中央合同庁舎2号館
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、特別の機関、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するものです。

【参加費無料】【事前申込受付中～11/6(月)17時まで】

※特別講演会場には収容人数に限りがございます。会場の安全管理の観点から事前申込により入場制限をさせて頂く場合がございます。お早目の参加申込をお願い致します。
事前参加申込の手続きは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

課題論文、プログラム詳細はホームページに掲載しております。必要に応じてプリントアウトしてお持ちください。
内容については、変更する場合があります。最新情報については、ホームページをご覧ください。

Photo:長陽大橋(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)



【プログラム】

13日

- 自由課題
一般部門(安全・安心、活力)
イノベーション部門
- ポスターセッション(技術センター展示を併設)
- 国土技術開発賞受賞技術報告

14日

- 自由課題
アカウンタビリティ部門
- 指定課題
- ポスターセッション(技術センター展示を併設)
- 建設技術研究開発助成制度成果報告
- 特別講演
- 表彰式

平成29年度 国土交通省 国土技術研究会

特別講演

『建設分野におけるAIの活用』

日時 平成29年11月14日(水) 14:00～15:00 **場所** 中央合同庁舎2号館(地下2階) 講堂



東京大学大学院
特任准教授

松尾 豊
Matsuo Yutaka

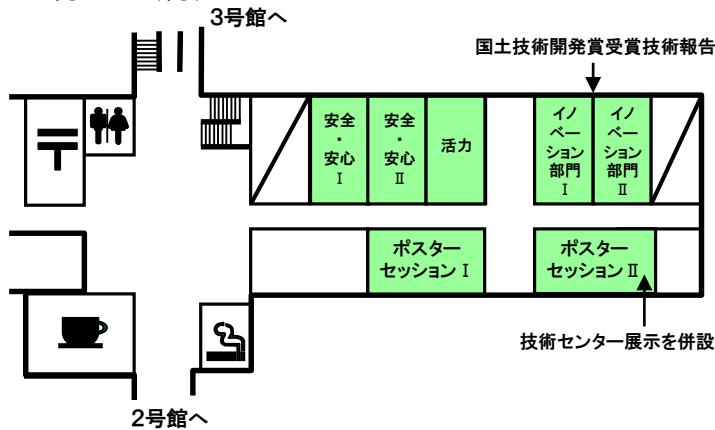
【プロフィール】

1997年 東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002年 同大学院博士課程修了。博士(工学)。同年より、産業技術総合研究所研究員。
2005年8月よりスタンフォード大学客員研究員を経て、2007年より、東京大学大学院工学系研究科総合研究機構／知の構造化センター／技術経営戦略学専攻准教授。
2014年より、東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 グローバル消費インテリジェンス寄付講座 共同代表・特任准教授。
専門分野は、人工知能、ウェブマイニング、ビッグデータ分析。人工知能学会からは論文賞(2002年)、創立20周年記念事業賞(2006年)、現場イノベーション賞(2011年)、功労賞(2013年)の各賞を受賞。
人工知能学会 学生編集委員、編集委員を経て、2010年から副編集委員長、2012年から編集委員長・理事。2014年より倫理委員長。

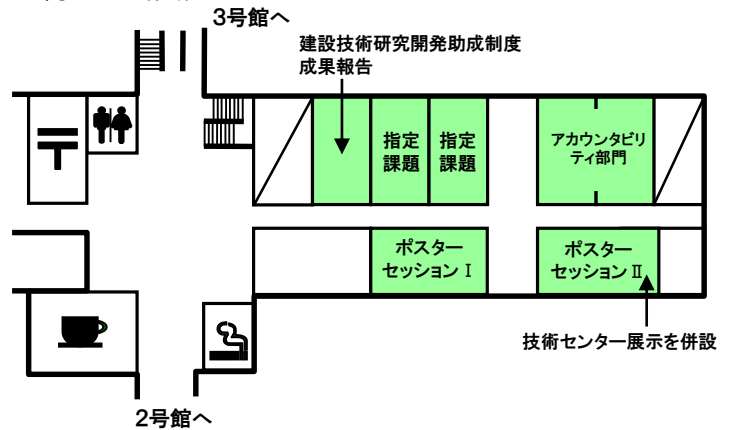
会場案内

- 特別講演は、中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂で行います。
- 講堂の収容人数の関係上、事前参加申込を実施致します。

11月13日(月)



11月14日(火)



プログラム

11月13日(月)

11月14日(火)

10:30 受付開始

9:30 受付開始

自由課題 一般部門 イノベーション部門	国土技術開発賞 受賞技術報告	ポスター セッション	自由課題 アカウンタビリティ部門	指定課題	建設技術研究開発 助成制度成果報告	ポスター セッション
11:00 一般部門 ＜安全・安心 I＞ 3課題 ＜安全・安心 II＞ 3課題 ＜活力＞ 3課題	11:00 国土技術 開発賞受賞 技術 12課題	11:00 展示数 14課題 技術センター 展示を併設	10:00 アカウンタビリティ部門 10課題	10:00 指定課題 6課題	10:00 政策課題解決型 6課題	10:00 展示数 14課題 技術センター 展示を併設
12:00 休憩	12:00	コアタイム 11:50～13:30	12:00	12:20	12:00	コアタイム 11:50～12:45
13:00 一般部門 ＜安全・安心 I＞ 11課題 ＜安全・安心 II＞ 10課題 ＜活力＞ 11課題 イノベーション部門 I 11課題 イノベーション部門 II 11課題			特 別 講 演 (中央合同庁舎 2号館講堂) 【受付12:30～入口にて】			
			13:00～14:00 中村英夫氏 (東京都市大学名誉総長) 『次の国土整備に向けて』			
			14:00～15:00 松尾豊氏 (東京大学大学院特任准教授) 『建設分野におけるAIの活用』			
			表 彰 式 (中央合同庁舎 2号館 講堂)			
17:00			15:10～16:00 表彰式・講評			

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅰ>

11月13日(月) 11:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00 ～ 11:20	交差点における交通事故対策と効果検証について	近畿地方整備局 兵庫国道事務所 管理第二課	太田 奈津江
2	11:20 ～ 11:40	速効的な渋滞対策案の検討について	近畿地方整備局 道路部 道路管理課	西田 拓二
3	11:40 ～ 12:00	固化改良した建設発生土の長期耐久性と締固め特性	国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 地質・地盤研究グループ 施工技術チーム	宮下 千花
—	12:00 ～ 13:00	休憩(60分)		
4	13:00 ～ 13:20	鹿児島湾の安全を確保せよ — 船舶の管轄区域外緊急出動での課題と対策について —	九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所 沿岸防災対策室	江藤 隆文
5	13:20 ～ 13:40	直轄作業船の大規模災害への対応 ～ 緊急出動の経験を踏まえて～	中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課	奥山 真治
6	13:40 ～ 14:00	国道53号万跨線橋における恒久足場を用いた橋梁点検の効率化	中国地方整備局 岡山国道事務所 管理第二課	藤田 和志
7	14:00 ～ 14:20	荷重抵抗係数アプローチに基づく部分計数法の港湾構造物への適用に関する 諸考察	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室	竹信 正寛
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	地形分類データの改良と地理院地図(ベクトルタイル)による公開	国土地理院 応用地理部 地理調査課	吉田 一希
9	14:50 ～ 15:10	ICT(アイシーティー)を活用した排水機場運転支援・不具合対応支援システムの 構築	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 高山ダム管理所	内田 颯太
10	15:10 ～ 15:30	老朽化排水機場の信頼性向上に向けた取り組み	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 防災課	中川 貴文
11	15:30 ～ 15:50	救急排水機場ポンプ設備への状態監視技術の適用について	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監付 寒地機械技術チーム	小林 勇一
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	汽水湖の結氷時の水質挙動	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム	杉原 幸樹
13	16:20 ～ 16:40	新しい非塩化物系凍結防止剤の冬期道路管理における適用性検討	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム	佐藤 賢治
14	16:40 ～ 17:00	平成28年1月集中降雪の検証と対応策について	北陸地方整備局 長岡国道事務所 管理第二課	吉田 幸矢

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅱ>

11月13日(月) 11:00～16:40

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00 ～ 11:20	数値計算に基づく新潟県糸魚川市における大規模火災の延焼拡大要因の分 析	国立研究開発法人建築研究所 住宅・都市研究グループ	岩見 達也
2	11:20 ～ 11:40	糸魚川火災における瓦屋根の飛び火に関する研究	国土技術政策総合研究所 建築研究部 防火基準研究室	水上 点晴
3	11:40 ～ 12:00	2016年熊本地震により被災した庁舎の被害要因および地震後継続使用性の 考察	国立研究開発法人建築研究所 構造研究グループ	渡邊 秀和
—	12:00 ～ 13:00	休憩(60分)		
4	13:00 ～ 13:20	堤防決壊時における排水対応マニュアルの作成	中部地方整備局 庄内川河川事務所 工務課	亀谷 国大
5	13:20 ～ 13:40	平成28年台風10号空知川上流における画像処理型流量観測の適用性 — 大規模出水に対応した流量観測高度化(その2) —	北海道開発局 札幌開発建設部 河川管理課	佐々木 靖博
6	13:40 ～ 14:00	沖波が全方位から来襲する港湾における設計波及び岸壁上越波量の算定	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋研究領域 波浪研究グループ	相田 康洋
7	14:00 ～ 14:20	津波火災被害を推定するための数値計算モデルの開発	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 津波高潮研究グループ	千田 優
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	濁水流下における濁度低下への河床材料の影響	国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 水工研究グループ 水理チーム	本山 健士
9	14:50 ～ 15:10	関係市町と連携した水防災意識社会の再構築について	関東地方整備局 下館河川事務所 調査課	豊原 裕子
10	15:10 ～ 15:30	「湯沢市沖ノ沢地区」警戒・避難体制について	秋田県 雄勝地域振興局 建設部 保全・環境課	木村 圭佑
11	15:30 ～ 15:50	津波防災地域づくりに資する砂丘の減災効果を確保するための要件の検討	国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室	浜口 耕平
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	渡良瀬川における堤防植生管理手法の検討	関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 管理課	中濱 匡
13	16:20 ～ 16:40	長安口ダム改造工事における堤体掘削とダム本体の挙動について	四国地方整備局 那賀川河川事務所 開発工務課	竹内 大輝

自由課題(一般部門) <活力>

11月13日(月) 11:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00 ～ 11:20	石巻港湾合同庁舎における地中熱利用空調システムの効果検証について	東北地方整備局 営繕部 整備課	石川 誉大
2	11:20 ～ 11:40	ビッグデータの活用による道路を賢く使う取り組み ～大規模イベント時の円滑な観客輸送に向けた利用実態等の効果的・効率的な把握～	中部地方整備局 道路部 計画調整課	古田 大樹
3	11:40 ～ 12:00	維持管理の効率化を見据えた道路トンネルの健全性に関する傾向把握	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室	上原 勇気
—	12:00 ～ 13:00	休憩(60分)		
4	13:00 ～ 13:20	ダム の点検放流と町の特産品を連携させ新たな観光資源を創出する取組について	東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所	菅原 満
5	13:20 ～ 13:40	ハッ場ダム観光プロジェクト「やんばツアーズ」について	関東地方整備局 ハッ場ダム工事事務所 地域振興課	河合 航平
6	13:40 ～ 14:00	新しい北海道総合開発計画の推進に向けて —北海道の人口低密度地域における農村の維持・活性化—	北海道開発局 開発監理部 開発調査課	田口 智
7	14:00 ～ 14:20	十日町市まちなかステージづくりの取組について	十日町市 建設部 都市計画課	小野塚 裕一
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	野洲川における自転車利用促進による地域活性化について	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 工務課	安藤 茂伸
9	14:50 ～ 15:10	女性が生き生きと働ける職場へ ～高知地区の取り組み～	四国地方整備局 土佐国道事務所 経理課	上池 友里子
10	15:10 ～ 15:30	女性の感性を生かした魅力的な現場づくりにむけて — 女性技術者の会の設立 —	関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 計画課	及川 優希
11	15:30 ～ 15:50	「公共建築の一斉公開」イベントの実施について	中国地方整備局 営繕部 計画課	原紺 純花
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	日田地区における三川分派対策について	九州地方整備局 筑後川河川事務所 調査課	山腰 司
13	16:20 ～ 16:40	石狩湾新港における漂砂特性と対策工法について	北海道開発局 小樽開発建設部 小樽港湾事務所 計画課	横山 慎司
14	16:40 ～ 17:00	那覇空港滑走路増設事業における長大ボックスカルバート製作について	内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 第一工事課	大城 祥慎

自由課題(イノベーション部門Ⅰ)

11月13日(月) 13:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	移動式たわみ測定装置の開発と実用化に向けた取り組み	国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 道路技術研究グループ 舗装チーム	若林 由弥
2	13:20 ～ 13:40	走行型トンネル点検車両を用いたトンネル点検業務の効率化について	東北地方整備局 福島河川国道事務所 工務第二課	小坂 理緒
3	13:40 ～ 14:00	トンネルLED【エリディ】照明の適正な清掃頻度の検討	本州四国連絡高速道路株式会社 神戸管理センター 電気通信課	日高 英治
4	14:00 ～ 14:20	北の峰トンネルにおけるウォータータイト区間を含めた施工状況報告 -トンネル周辺の地下水位回復に向けて-	北海道開発局 旭川開発建設部 富良野道路事務所 工務課	古市 圭典
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	国道10号高鍋地区におけるETC【イーティーシー】2.0データを活用した事故対策 効果の検証	九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 調査第二課	山下 茜
6	14:50 ～ 15:10	建築工事完成後の故障・不具合発生傾向について -過去の対応記録からの傾向を探る-	北海道開発局 函館開発建設部 施設整備課	山本 章博
7	15:10 ～ 15:30	道路空間を活用したカーシェアリング社会実験	関東地方整備局 東京国道事務所 交通対策課	下平 幸英
8	15:30 ～ 15:50	歩道除雪車の作業ガイダンス装置の開発	北陸地方整備局 北陸技術事務所 施工調査・技術活用課	長谷川 崇
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	道路橋床版の打替え・補強における超高強度繊維補強コンクリートの適用性の 評価	中日本高速道路㈱ 技術・建設本部 環境・技術企画部 技術企画・開発チーム	北川 寛和
10	16:20 ～ 16:40	経済的な地盤改良技術の改良効果および設計法の提案 -グラベル基礎補強併用低改良率地盤改良について-	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ 寒地地盤チーム	橋本 聖
11	16:40 ～ 17:00	超軟弱地盤盛土への挑戦！ ～養老IC【インターチェンジ】 30万m3【立米】の盛土を経験して～	中部地方整備局 岐阜国道事務所 工務課	長谷川 哲也

自由課題(イノベーション部門Ⅱ)

11月13日(月) 13:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	新しい標高体系の構築に向けた精密重力ジオイドの開発	国土地理院 地理地殻活動研究センター 宇宙測地研究室	松尾 功二
2	13:20 ～ 13:40	大型遠隔操縦式草刈機の効率化について	中国地方整備局 中国技術事務所 施工調査・技術活用課	間野 哲浩
3	13:40 ～ 14:00	余部管内の河川維持管理におけるコスト縮減の取り組みの紹介	近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課	平山 岳弥
4	14:00 ～ 14:20	多摩大橋周辺における治水と環境の調和した川づくり	関東地方整備局 京浜河川事務所 河川環境課	志賀 久枝
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	河川縦横断測量におけるALB(エーエルビー)の活用について	近畿地方整備局 福井河川国道事務所 河川管理第一課	小川 善史
6	14:50 ～ 15:10	タブレット端末を用いたダム機械設備管理支援システムの構築	独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社 吉野川本部	吉田 高広
7	15:10 ～ 15:30	築堤設計におけるCIMの活用について	北陸地方整備局 千曲川河川事務所 調査課	野口 俊輔
8	15:30 ～ 15:50	サンゴ礫混じり土調査・設計マニュアルの改訂について	内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 第一工務課	江崎 荘太
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	東北以外で初！巨大津波から駿河海岸を守る ～「粘り強い構造の海岸堤防」の整備に向けた取組～	中部地方整備局 静岡河川事務所 海岸課	吉永 匡宏
10	16:20 ～ 16:40	直轄土砂処分場における減容化対策の検討	中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 工務課	山中 恵里
11	16:40 ～ 17:00	耐震強化岸壁へのカルシア改質土適応のための検討	四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所 設計班	山崎 元貴

自由課題(アカウントビリティ部門)

11月14日(火) 10:00～12:10

NO	課題名	所属	発表者
グループ①	1 自治体との図上訓練による防災力向上に向けた取り組み	北海道開発局 札幌開発建設部 河川計画課	與田 直斗
	2 まちの元気を創出する道路協力団体制度の取組について	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 道路管理第一課	杉浦 由佳
	3 地域の想いとつながった「多自然川づくり」 ～アユと魚類の生息環境に配慮した河道復元の取り組み～	中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 調査課	久保田 光
	4 広島豪雨土砂災害の緊急砂防事業における地域とのコミュニケーション	中国地方整備局 太田川河川事務所 広島豪雨土砂災害対策推進室	田頭 志保
	5 緑川流域会議の設立に向けた取り組みについて	九州地方整備局 熊本河川国道事務所 調査第一課	平嶋 元治
グループ②	6 基礎自治体と連携した広範囲な広報展開 ～カスリーン台風襲来から70年～	関東地方整備局 利根川上流河川事務所 調査課	與儀 亜希子
	7 新たな発見！目で見ると天ヶ瀬ダム再開発事業 ～変化していく現場が一目でわかるタイムラプスカメラ活用術～	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 工務課	安井 潤
	8 福井河川国道事務所におけるSNS(エスエヌエス)広報の取り組みとその効果	近畿地方整備局 福井河川国道事務所	村岡 宏
	9 CIM モデルを活用した江尻地区かわまちづくり	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	氏原 暁歩
	10 沖縄北部ダムツーリズムの推進	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 河川課	森田 陽弘

指定課題Ⅰ

11月14日(火) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:40	道路橋示方書の改定について ～部分係数設計法と設計供用期間100年の導入～	道路局 国道・防災課	課長補佐 和田 圭仙
2	10:50 ～ 11:30	大規模火山噴火に対する減災を目的とした砂防における総合的対策に関する研究	水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課	課長補佐 村松 悦由
3	11:40 ～ 12:20	次世代社会インフラ用ロボットの現場導入における 水中設備等調査支援ロボットに関する研究	総合政策局 公共事業企画調整課	課長補佐 大槻 崇

指定課題Ⅱ

11月14日(火) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:40	官庁営繕事業におけるBIM導入に関する調査研究(仮)	大臣官房 官庁営繕部 整備課 施設評価室	営繕技術専門官 那須 大輔
2	10:50 ～ 11:30	異常気象時の道路通行規制判断等におけるレーダ雨量計の活用について	大臣官房 技術調査課 電気通信室	課長補佐 大坪 祐紀
3	11:40 ～ 12:20	周辺施設への影響を考慮した護岸構造物の耐震対策検討	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 耐震構造研究グループ	研究官 伊藤 広高

ポスターセッション

※コアタイム 11月13日(月) 11:50～13:30 、 11月14日(火) 11:50～12:45
発表者がポスター前に待機し、来場者からの質疑に応答致します

NO	課題名	所属	発表者
会場①	1 世界最小のペンギンを救え！ ～新たな繁殖技術への挑戦～	東京動物園協会 葛西臨海水族園 飼育展示課	野島 大貴
	2 地理空間情報の利用促進のためのベクトルタイル活用の検討	国土地理院 地理空間情報部 情報普及課	川村 拓弥
	3 新型簡易遠隔操縦装置(ロボQS【キューエス】)の開発について	九州地方整備局 九州技術事務所 施工調査・技術活用課	橋住 伸一郎
	4 自転車通行空間に設置する矢羽根型路面表示の寸法・間隔に関する実験検証	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路交通安全研究室	尾崎 悠太
	5 釧路外環状道路別保地区における大規模切土について -ICT【アイシーティー】活用工事の施工事例-	北海道開発局 釧路開発建設部 釧路道路事務所 第1工務課	河合 俊幸
	6 ETC2.0 ブローブ情報を活用した渋滞対策効果の検証について	四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課	二宮 智大
	7 災害対策用ヘリコプターによる映像を用いた迅速な被災地オルソ画像の作成	国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室	阪上 雅之
	8 東日本大震災に学ぶ新たな設計法の確立 ～津波浸透流に屈しない強靱な防波堤を目指して～	東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所 建設管理官	下谷 勝規
	9 XRAINを用いた冬期降水量推定精度向上に向けた取組について	北陸地方整備局 河川部 水災害予報センター	谷口 和哉
	10 衛星測位を利用した海面の高さを測定する観測装置(GNSS【ジエヌエス】)の 開発	国土地理院 測地部 測地基準課	加古 考範
	11 モニタリング技術の活用による橋梁維持管理の高度化・効率化 ～生産性向上(i-Bridge)【アイ・ブリッジ】の実現に向けて～	国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ	山口 岳思
会場②	12 おかげさまっ！宮川桜堤(土木遺産)の改修 ～300年の歴史・文化と一体となった河川整備～	中部地方整備局 三重河川国道事務所 工務第一課	土井 万莉子
	13 三条市におけるインフラツーリズムについて	三条市 経済部 営業戦略室	中村 春菜
	14 やんばる9ダムスタンプラリーについて	内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 流域対策課	渡邊 勇氣

技術センター展示

※ポスターセッション会場②において、技術センター展示も行います

会場②	1	関東維持管理技術センター
	2	北陸雪害対策技術センター
	3	中部地震津波対策技術センター
	4	九州防災・火山技術センター

国土技術開発賞受賞技術報告

会場①：11月13日(月) 11:00～12:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00 ～ 11:10	建設機械の自動化による次世代の建設生産システム	鹿島建設株式会社	三浦 悟
2	11:10 ～ 11:20	供用中の栈橋を効率的に耐震補強する工法 (部材長可変式の部材で耐震補強するRe-Pier(リピア)工法)	あおみ建設株式会社	吉原 到
3	11:20 ～ 11:30	ネットワーク対応型無人化施工システム	株式会社 熊谷組	北原 成郎
4	11:30 ～ 11:40	橋梁の耐震性能を向上させる皿パネ式摩擦型ダンパー ～橋梁用プレーキダンパー～	株式会社大林組 技術研究所	武田 篤史
5	11:40 ～ 11:50	カルシア改質土による大規模埋立技術 循環資源のリサイクルに資する急速埋立施工技術	五洋建設株式会社	田中 裕一
6	11:50 ～ 12:00	繰り返し注入型地山補強土工法 ～小径削孔・注入で大径補強材を造成「ロータスアンカー」～	ライト工業株式会社	別府 正顕

会場②：11月13日(月) 11:00～12:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00 ～ 11:10	平成の国宝姫路城大天守保存修理 (伝統技術と現代技術の融合による姫路城の再生)	鹿島建設株式会社	河原 茂生
2	11:10 ～ 11:20	アプリ「減災教室」 ～防災・減災を「わかる」から「できる」へ～	岐阜大学	高木 朗義
3	11:20 ～ 11:30	総合洪水解析システムIFAS【あいふあす】	国立研究開発法人土木研究所	伊藤 弘之
4	11:30 ～ 11:40	シャフト式遠隔操縦水中作業機 T-iROBO UW【ティーアイロボ ユーダブリュ】	大成建設株式会社	水野 智亮
5	11:40 ～ 11:50	水路の敷段差を不要とした無動力自動開閉ゲート	旭イノベックス株式会社	小野寺 哲男
6	11:50 ～ 12:00	コーティングと化学処理を融合した防滑技術	株式会社 ニーズインターナショナル	栖原 八朗

国土技術開発賞とは

技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するものです。また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰しています。

主催：一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 沿岸技術研究センター

後援：国土交通省

建設技術研究開発助成制度成果報告

11月14日(火) 10:00～12:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:20	現場急速成形法と埋込み型センシングを併用したFRP部材による鋼構造物の補修・補強技術の開発	豊橋技術科学大学	松本 幸大
2	10:20 ～ 10:40	ドーナツ型TBMを活用した新たな山岳トンネル工法の開発	一般財団法人先端建設技術センター	塚原 隆夫
3	10:40 ～ 11:00	深礎杭孔内無人化施工システムの開発	岐阜大学	八嶋 厚
—	11:00 ～ 11:10	休憩(10分)		
4	11:10 ～ 11:30	鋼床版の疲労損傷に対する コンクリート系舗装による補強技術の性能評価に関する研究	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所	小野 秀一
5	11:30 ～ 11:50	既存不適格木造住宅の耐震化率を飛躍的に向上させる改修促進のための総合技術の開発	名古屋工業大学	井戸田 秀樹
6	11:50 ～ 12:10	カメラ画像を利用した大雪および暴風雪による視程障害・吹きだまり検知に関する技術開発	株式会社シー・イー・サービス	正岡 久明

建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度です。

平成28年度に実施された研究開発等の成果について報告します。